

■ 著者紹介

望月 詩史（もちづき・しふみ）

1982年 山梨県生まれ

2005年 同志社大学法学部政治学科卒業

2012年 同志社大学法学研究科政治学専攻博士課程修了・博士（政治学）

現 在 同志社大学法学部准教授

主 著

『戦後日本思想と知識人の役割』（第4章，分担執筆）法律文化社，2015年

『新編 同志社の思想家たち』（上巻第4・8章，下巻第2章，分担執筆）晃洋書房，2018-19年

「天皇への「甘え」——「平成」とはいかなる時代だったのか」、『自由思想』154号，2019年

「戦時下の石橋湛山の言論活動と対外発信——研究プロジェクトB 成果報告」（共著），立正

大学石橋湛山研究センター『石橋湛山研究』3号，2020年

「長谷川如是閑と対外発信——英文による日本文化論を手掛かりに」、『同志社法学』72巻3

号，2020年